



2026年4月1日

各 位

会社名 株式会社テ・ウェスタン・セラピ°テクス研究所  
代表者名 代表取締役社長 日高 有一  
(コード番号:4576 東証グロース)  
問合せ先 取締役 松原 さや子  
TEL 052-218-8785

## 乳酸菌エクソソーム（細胞外小胞：EVs）を用いた 新規眼科疾患治療薬創出に向けた共同研究開始のお知らせ

当社及び株式会社 LAB バイオテック（本社：北海道札幌市、代表取締役社長：村上睦、以下「LAB バイオテック」）は、乳酸菌エクソソーム（細胞外小胞）を用いた眼科疾患に対する治療薬創出に向けた共同研究（以下「本共同研究」）の契約を締結しましたのでお知らせいたします。

乳酸菌は、整腸作用や免疫機能の調整、アレルギー症状の緩和等の健康効果が知られており、食品、サプリメント、さらには医薬品分野においても広く活用されています。一方で、細胞が外部環境に放出する細胞外小胞（Extracellular Vesicles: EVs）は、脂質二重膜<sup>(注1)</sup>から成るナノサイズの粒子であり、近年、EVs は免疫調節や炎症制御など生体内の多くの重要な機能に関与する可能性が示唆されており、注目されています。

本共同研究では、LAB バイオテックが有する乳酸菌由来のEVs(以下「乳酸菌 EVs」)を用いて、眼科疾患の治療薬創製に取り組みます。LAB バイオテックの精製した乳酸菌 EVs は、同社の研究において抗炎症作用を示すことが確認されており、また、精製度に応じてより高い抗炎症活性を示すことが明らかになっています。眼科領域では、多くの疾患において炎症が病態形成に関与していることが知られており、炎症の制御は重要な治療アプローチの一つとされています。

本共同研究において、LAB バイオテックは候補となる乳酸菌 EVs の提供を行い、当社はこれまで培ってきた眼科領域における評価技術を活用し、薬効薬理試験等を実施することで、眼科疾患治療薬としての可能性を検証してまいります。

なお、本件による2026年12月期業績予想の変更はありませんが、新たなモダリティを活用した眼科疾患治療薬の創製を目指すものであり、当社のパイプライン拡充につながる取り組みと考えております。

以 上

## 株式会社 LAB バイオテックについて

LAB バイオテックは、新規乳酸菌の探索から製品化までを一貫して実施する北海道大学発認定スタートアップ企業です。現在は独自乳酸菌 900 株を保有し、複数の乳酸菌プロジェクトを進行しています。特に、乳酸菌が細胞外に放出する乳酸菌エクソソーム (EVs) に着目しており、その精製技術を確立し、独自乳酸菌より多様な高精製 EVs を提供できるのが特徴です。

詳細は、同社ウェブサイト (<https://lab-biotech.co.jp/>) をご覧ください。

## 用語解説

### (注 1) 脂質二重膜

脂質が二層に並んで形成され、細胞の外側を覆う細胞膜のことです。この膜は細胞の内部環境を保ちながら、特定の物質の出入りを調節する働きを持っています。